

様式第8号ウ

<農学科> (認定課程:高一種免(農業))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	生物学を中心に自然や農業の果たす役割を学ぶための素養を培うとともに、語学や人文・社会科学も学んで広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	引き続き、自然や農業の果たす役割を学ぶための素養を培う。教職についての理解をさらに深め、教員としての適性を確認する。
2年次	前期	農業、環境に関わる事柄について、様々な視点で考える態度を身に付けるとともに、引き続き広い教養を養う。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	農業や環境に関わる事柄について広い視野で考える態度を身に付ける。生物、とりわけ植物についての実験および研究方法を身に付ける。理科教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3年次	前期	引き続き、農業や環境に関わる事柄について研究するための研究方法を身に付ける。理科教員として必要とされる専門的な指導法、高等学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	農業に関わる職業、環境保全等に関わる職業について、インターンシップを通して関心を高め、将来の進路を考える。卒業研究で取り組むテーマをおおまかに決める。引き続き農業科教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4年次	前期	農業、またはそれを取り巻く諸問題についてのテーマを定め、実験・調査を進める。教育実習をすることで、大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教員の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	これまでを振り返り、農業に関わる問題に対しての解決能力がどれだけ養われたかを確認し、それを教育現場や社会でどう生かすのか考える。高等学校農業科教員として必要な素養がどれだけ身についたかを確認する。